

令和4年度企業版ふるさと納税に係る大臣表彰式

スペシャル対談「地方創生と企業版ふるさと納税の可能性」について

登壇者① 小田切義憲氏 SPACE COTAN株式会社代表取締役社長兼CEO

大臣表彰の受賞団体である北海道大樹町で、ロケット発射場などを備えた宇宙港の整備に取り組む



寄附獲得のコツ（大樹町での取組を例に）

- ✓ 宇宙産業の**将来性**を伝える。
- ✓ プロジェクトを通じ、大樹町だけでなく、北海道全体、全国に好影響があることをアピール。

自治体が寄附先として選ばれるポイント

- ✓ **キラーコンテンツ**があるかが重要。外部の人の力も借りて、キラーコンテンツを見つけ、磨き、アピールする。

企業へのメッセージ

- ✓ 企業版ふるさと納税のプロジェクトを通じて、中高生がその分野に興味を持つきっかけになる。
- ✓ **日本全体を活性化させるツール**として、企業版ふるさと納税をもっと知ってほしい。

登壇者② 寺田親弘氏 Sansan株式会社 代表取締役社長、神山まると高専理事長

大臣表彰の受賞団体である徳島県神山町で、テクノロジーやデザイン等を学べる高等専門学校の開校に向け取り組む



寄附獲得のコツ（神山町での取組を例に）

- ✓ 学校を開設するというプロジェクトへの**共感性**と、企業版ふるさと納税の**財務的なメリット**を強調している。

自治体が寄附先として選ばれるポイント

- ✓ 単に「**寄附をお願いします**」では**企業は動かない**。まずは**プロジェクトへの共感**を得ることが必要。

企業へのメッセージ

- ✓ 将来的に、「企業版ふるさと納税をしていないと恥ずかしい」という流れになってほしい。
- ✓ 寄附するにあたり、企業として**ロジックを持つことやプロジェクトに参画する**ことが必要